① 市場のデジタル化

# 卸売市場における取組事例(デジタル化による働き方改革)

- (株)なにわ花いちばと(株)JF鶴見花きは、場内せりを廃止し、共通のインターネット取引システムによるオンライン取引に移行することで、作業人員を大幅に削減するとともに、セリ時間を朝6時30分から前日の19時に前倒しすることで、従業員の深夜・早朝の勤務を削減し、働き方改革を実現。
- 時刻が早まることで、早期出荷による鮮度向上や遠隔地の市場への輸送が可能になり、渋滞の少ない時間帯で輸送可能になるなど、物流も効率化。

6:30







19:00



人員 1人/セリ機×11機 = 11人

- ・車通勤しかできない
- ・私生活で友人等と予定が合わせづらい

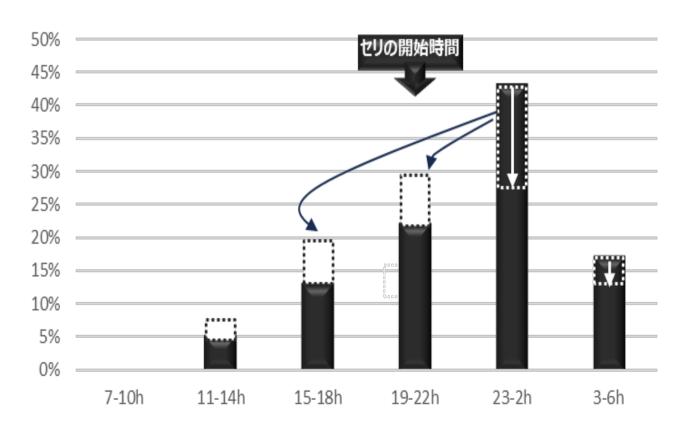
人員 5人/セリ台×11台 = 55人

・公共交通機関で通勤可能

→雇用の幅が拡大

・終業後に予定を入れられる →社員の離職率の減少

#### 搬入トラックの割合(イメージ)



#### **Point**

- ⇒ **9割がセリ前取引**でセリの前(昼間)に売れるので、残り1割のセリが終われば**20時には退社可能**。
- ⇒ 従業員の**ワークライフバランスが改善**され、なにわ花いちばでは、 従業員の**平均年齢**が37歳前後に。

# ② 市場のデジタル化

## 卸売市場における取組事例(デジタル化による働き方改革)

- 〇 <u>(株)ウーオ</u>が提供する「<u>オンライン受発注システム</u>」は、自動で取引価格に<u>手数料・物流費</u> <u>を上乗せして表示</u>、産地は<u>売りたい価格で商品を出品</u>することが可能で、買い手側の卸・仲卸業者の方から欲しい商品を提案することも可能。
- 当該システムは、<u>卸売業者の卸売業務にも活用が可能</u>であり、セリ前取引の多くで<u>アプリ発注</u>ができるようになるだけでなく、<u>システムでの在庫管理</u>により、<u>受発注ミス</u>、時間外の受発注作業、在庫管理のストレスが解消し、業務の効率化や働き方改革に貢献。

#### (atohama)



卸の声

- 動務時間外にオーダーがあり、休みの日も在庫管理で子育てどころではなかった。全国の全ての卸、仲卸が同じ悩みで苦しんでる。
- ・記帳やパソコンで在庫管理していた時代は考えられない。もはやアプリがないと仕事ができない。(中堅職員)
- ・ **在庫管理を手で書くなんてありえない**。画像の拡大編集で良い魚をもっと見やすくしていきたい。(入社3年目の若手)
- 暑い夜にわざわざ卸売する必要もなく、働く時間帯も変える必要。
- **離職率が下**がっている。特に**若い人材が辞めるのが減**ってきた。

仲制の声

- スーパーの発注は午前〜夕方、飲食店の発注は昼〜夕方で、**仲卸 の業務時間外**に**受注**せざるを得なかったが、**これで楽になった**。
- 発注ミスが減った。やりだすとこれじゃないとできなくなる。
- ・電話やメールでの先取りでも**現物は見られない**ので、**システムで 買っても同じ**。職人の**目利きでないと駄目な世界**もあり、それは **現物で**やっていて、**使い分けが大事**。

# ② 価格形成

# 冷凍野菜の加工・販売で青果物の適正価格を維持

- <u>熊本大同青果グループは、大手商社と共同で「熊本大同フーズ</u>」を設立。2021年3月から生産 者の所得向上を目的に、**冷凍野菜の加工・販売販売**を開始。
- 年間での生産能力は約2千トン。県内産のホウレンソウ、コマツナ、ミカン、不知火、イチゴなど の冷凍加工を行い、売上を拡大。
- 生鮮だけでなく、<u>冷凍出荷により販売チャネルを拡大</u>し、安定して販売できる体制を構築。 青果物の**安定供給と適正価格の維持**を目指している。

# 契約取引



【生産者】



販売情報

生産者との繋がりが強い 産地市場のメリットを活かし 連携を強化

#### 熊本大同フーズ







#### 計画販売



【実需者】

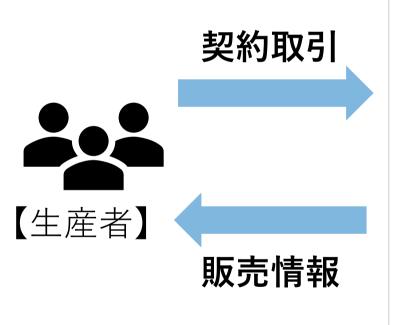
コスト情報

バッファー機能(貯蔵保存)を 活かした青果物の 安定販売体制の構築

# ② 価格形成

# 鮮度保持しながら需要にあわせた出荷で高値を維持

- <u>長崎でじま青果(株)</u>は、県産ブロッコリーの生産、供給の安定に向け、長崎市中央卸売<u>市場内に加</u> <u>工・冷蔵施設を整備</u>し、地元農家やJA等から全量を<u>契約取引で買い上げ</u>、当該施設で<u>貯蔵した後、鮮度</u> <u>保持</u>のため<u>氷詰め</u>をして出荷。
- 需給で相場変動する中でも**冷蔵貯蔵**しながら需要にあわせた出荷をすることで、相場取引よりも**通年で**見て**高値安定した取引を実現**。
- 卸から小売、生産者に上記の<u>データやコスト情報</u>を示し、持続可能な<u>生産への理解を醸成</u>。



## 長崎でじま青果(株)

貯蔵・氷詰め







計画販売



【実需者】

コスト情報